



# news release

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 (URL) <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係者各位

2010年2月9日

## 利便性と環境を両立

### 環境配慮型自動販売機の導入を加速

ノンフロン・ヒートポンプ式自動販売機約5,000台市場へ投入

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区、代表取締役社長:角野中原)は、社会と共生する自動販売機の展開を目指し、環境配慮型自動販売機の設置を推進しています。

当社は、1995年より自動販売機の省エネ化を推進しており、現在北海道で稼働する約45,000台の自動販売機のうち95%以上は既に省エネ仕様になっていますが、今年新たに市場に投入する約5,000台の自動販売機は全て、さらに省エネ化の進んだノンフロン冷媒を使用したヒートポンプ式自動販売機で、自動販売機チャンネルにおける環境負荷の低減を積極的に推進していきます。

この環境配慮型自動販売機は、1台あたりの電力量は約980kwh/年で、この方式を搭載しない従来の自動販売機(約1680kwh/年)と比較すると、消費電力量を約5割削減できるのが特徴で、環境に配慮した活動を積極的に推進している公共施設や民間企業などを中心に展開を行います。

昨今の環境意識の高まりのなか、自動販売機は24時間利用できる利便性の反面、常時運転による環境負荷の低減が課題でしたが、このヒートポンプ式自動販売機は、空気中の熱を取り出して熱エネルギーに変換し、そのエネルギーを冷却、加熱に利用します。これにより自動販売機のエネルギー消費の大部分を占める加温や冷却でのエネルギー消費を抑えることができます。

また、「“ecoる”自動販売機」として、共通のアイコンとのもとで包括的に捉えて展開を進めています。具体的には、自動販売機本体への“ecoる”ステッカーの添付や自動販売機本体への“ecoる”ロゴの記載などを行うことで、消費者に対して当該自動販売機が環境対応機種であることを伝え、コカ・コーラシステムとしての自動販売機チャンネルにおける環境に対するコミットメントとして広く訴求します。

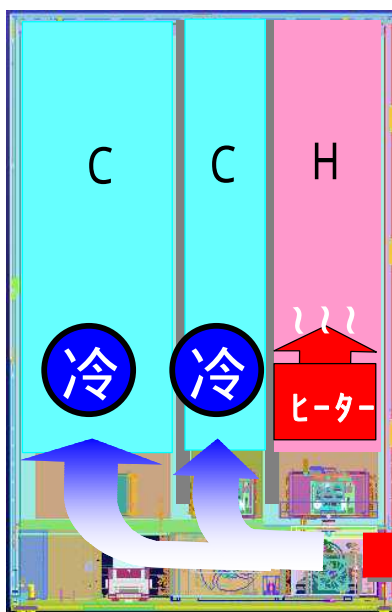
当社は、「変化への挑戦～北の大地とともに～」をスローガンに、環境保全活動を通じて、持続可能で、安全・安心な社会の実現を目指しております。

これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全・安心を守る活動を、事業活動を通じて継続的に推進してまいります。

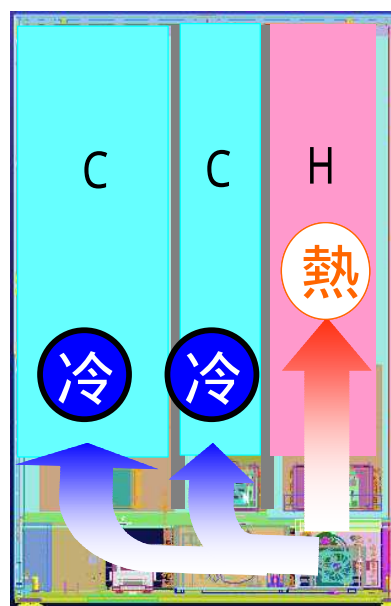
【参考】

従来機とヒートポンプ機の違いについて

【従来方式】



【ヒートポンプ方式】



現状：ヒーターによる加温、冷媒による冷却と別々に稼動しています。

ヒートポンプ：熱交換器にて自然冷媒をコンプレッサー加圧する際に発生する熱を活用し加温庫室を温めます。

植物由来の素材を使用した PET ボトル「プラントボトル」について

「プラントボトル」は、植物由来の素材を一部に使用した国内製造の PET ボトルです。素材の一部を植物由来とすることで、非再生資源である石油への依存を低減し、かつ、今までと同様に既存の PET ボトルリサイクル工場ですべてのリサイクルが可能です。2010年3月15日より、「爽健美茶」および「爽健美茶 黒苺」に、続いて4月12日より「い・る・は・す」に、それぞれ導入予定です。この3製品で、年間2,045キロリットル相当の原油使用量削減効果が見込まれます。

その他

当社はこれまでも、知床世界自然地域内に設置した全ての当社自販機の売上金の一部を協賛して、環境保全活動を地域の皆様と共に推進するほか、「ジョージア サントスプレミアム北海道限定デザイン缶」の売上金の一部を販売数に応じて北海道環境財団に寄付し、北海道の環境保護活動を継続的に推進するために、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくプロジェクト「北海道 e - 水 (イーミズ) プロジェクト」を北海道と協働で取り組むことといたしました。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

広報・CSR推進部 広報課

TEL 011-888-2091